株式会社日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency,Ltd.

26-D-0836
2026 年 10 月 16 日

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

グンゼ株式会社（証券コード:3002）

【据置】

長期発行体格付	Ａ
格付の見通し	安定的
国内ＣＰ格付	Ｊ－１

■格付事由

(1) 各種機能製品やインナーウエアの国内大手メーカー。製糸業を起点に、現在はプラスチックフィルムやエンプラ、生体吸収性医療材料などに事業を多角化している。売上高ではアパレルが最大の構成を占めるが、営業利益では機能ソリューションが中核となっている。中期経営計画（26/3 期～28/3 期）では、機能ソリューション、メディカルの強化・拡大を図る一方、アパレル、ライフクリエイトは事業構造改革を推進。これらにより、利益成長と資本効率の向上を図る方針である。

(2) 主力製品の競争優位性や健全な財務構成に変化はない。26/3 期業績ではメディカルの中国での事業環境変化のほか、アパレルの構造改革負担が大きなマイナス要因となった。ただ、構造改革自体は中期経営計画で予定されていたものであり、同事業の収益性改善に向けた取り組みは順調に進んでいる。一方、機能ソリューションは技術力や顧客へのきめ細かな対応などを背景に着実に収益力を高めている。利益水準はやや振れがあるものの、過去、減益が長期化した例は限定的で、業績悪化後の復元力が認められる。また当面、財務リスクが高まる懸念は小さいと考えられる。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。

(3) 26/3 期の営業利益は 49 億円（前期比 38.4%減）となった。メディカルが中国販売の低迷と事業拡大に向けた固定費増で減益となり、アパレルはブランド集約・SKU 削減に伴う棚卸資産評価損の計上で営業赤字となったことが響いた。27/3 期会社計画では営業利益 88 億円（同 80.3%増）を予想する。機能ソリューションは半導体や医療向け拡販のほか、資源循環による原価低減効果などにより利益成長が続く。また、アパレルは棚卸資産評価損がなくなることに加え、生産物流拠点の集約・再編等の効果で黒字転換を計画。これらが主な増益要因となる見込み。

(4) 26/3 期末の自己資本比率は 72.8%で、有利子負債は僅少である。中期経営計画のキャッシュアロケーションでは総還元性向 100%に加え、追加的な株主還元を計画する。成長投資はピークアウトしてくるが、27/3 期も減価償却費を上回る設備投資が計画されている。このため、当面は利益蓄積による自己資本の増加は見込みづらく、有利子負債の増加も予想される。ただ、底堅いキャッシュフロー創出力があり、引き続き、財務状況を適切にコントロールしていけると考えられる。

（担当）殿村　成信・藤田　剛志

■格付対象

発行体：グンゼ株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	400 億円	J-1

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. **信用格付を付与した年月日**：2026 年 10 月 13 日
2. **信用格付の付与について代表して責任を有する者**：水川　雅義
   主任格付アナリスト：殿村　成信
3. **評価の前提・等級基準**：
   評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
4. **信用格付の付与にかかる方法の概要**：
   本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）として掲載している。
5. **格付関係者**：
   （発行体・債務者等）　　グンゼ株式会社
6. **本件信用格付の前提・意義・限界**：
   本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
   本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
   本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. **本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者**：
   ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
   ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. **利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要**：
   JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. **格付関係者による関与**：
   本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. **JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置**：なし

■**留意事項**
本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■**NRSRO 登録状況**
JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/en/）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■**本件に関するお問い合わせ先**
情報サービス部　　TEL：03-3544-7013　FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者　金融庁長官（格付）第 1 号
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8　時事通信ビル

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.